

令和 7 年度事業計画
及び
令和 7 年度収入支出予算

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

令和 7 年度事業計画

- 1 本部事務局
- 2 熊本県身体障害者福祉センター
- 3 熊本県ひばり園
- 4 熊本県くすのき園
- 5 熊本県りんどう荘
- 6 熊本県身体障害者能力開発センター
- 7 熊本県社会福祉事業団相談支援事業所

1 本部事務局

1 概要

当事業団は、昭和50年7月に県立福祉施設の管理運営を目的として設立され、平成22年4月1日に民営化されました。

民営化後、各施設とも国の制度改正等に対応しながら経営の安定化に努めてきました。

令和3年6月には、今後の経営方針及び取組（実施計画）を示すため、中期経営計画（R3～R7年度）を策定するとともに、社会福祉充実計画（H29～R3年度）についても、令和3年度に令和8年度までの新しい計画として見直しを行い、これらの計画に掲げた事業の着実な実行を図っています。

法人の設立50周年に当たる令和7年度においては、今後の更なる発展のための記念事業を実施するとともに、終期を迎える現中期経営計画の次期計画を策定し、今後の取組の方向性を示します。また、各施設が各々で実施している事務事業について集約を行い、効率化だけでなくリスク分散や体制の強化を推進します。

2 主な事業内容

中期経営計画における実施計画の進捗管理や検証を行い、法人・施設経営の安定化と発展に努めます。

（1）利用者の視点【利用者に寄り添い自分らしい生き方ができるよう応援します】

- ・ 利用者の人権・権利擁護の取組として、各施設において障がい者の人権・権利擁護に関する研修等を引き続き実施し、職員の意識向上を図ります。

（2）サービスの視点【サービスの検証と向上に努め期待されるサービスを提供します】

- ・ 利用者の満足度調査や資格取得の支援による職員のスキルアップ等によりサービスの質の向上に努めます。
- ・ 感染症及び自然災害に係る事業継続計画（BCP）に基づく定期的な研修や訓練の実施により、安定したサービス提供体制を構築していきます。
- ・ 介護支援機器やICTを導入し利用者サービスの向上と職員の負担軽減を図ります。

（3）地域・社会の視点【必要とされる福祉サービス等の提供を通して地域社会に貢献します】

- ・ ひばり園が熊本市から受託して実施している「児童発達支援センター等機能強化事業」により、引き続き東区の児童発達支援事業所等のレベルアップと連携強化に努めます。
- ・ 新たに設置する地域連携推進会議を活用し、地域の人々への施設や利用者に関する更なる理解の促進を図ることで、地域に根付いた施設づくりを推進します。

（4）法人・施設の視点【将来にわたって健全で安定した経営基盤の強化に努めます】

- ・ 事業の維持・展開に伴う人員を計画的に確保するとともに、将来の法人・施設経営の中核となる人材の確保・育成に努めます。
- ・ 現中期経営計画が令和7年度で終期を迎えることから、令和7年度中に次期計画の策定を行い、法人の今後の経営方針や取組計画を提示します。
- ・ 利用者の生活環境の向上や職員の働きやすい職場環境づくりのために、第4期施設・設備整備計画や社会福祉充実計画に基づく施設・設備の整備を進めます。
- ・ 各施設それぞれで実施している事務事業について、同一建物内の事務や隣接建物内の事務の集約を行い、業務の効率化を図るとともに、リスクを分散し専門性を高め体制を強化します。

- ・ 令和7年度は法人設立から50年となることから、記念式典の実施やホームページのリニューアルなど記念事業を効果的に展開、実施します。
- (5) 人材の視点【高い専門性と豊かな人間性を備えた人材の育成・定着に努めます】
- ・ 令和2年3月に策定した基本方針に基づき人材の確保、育成及び定着を図るとともに、キャリアパスモデルと人事評価制度の公表により、モチベーションの維持・向上を図ります。
 - ・ 令和6年度に改定された新たな障害報酬による介護職員等処遇改善加算の活用や給与・賃金改定により処遇改善を図ることで、職員の確保及び離職防止に努めます。
 - ・ 令和3年度に拡充した資格取得に対する助成制度の利用を促進することにより人材育成を図ります。
 - ・ 働きやすい職場環境を整備するために、職員の健康管理・相談体制の確立に向けて嘱託産業医の設置や、病気や傷害等の療養のために休業した職員が可能な限り引き続き就業できるよう支援のあり方等について引き続き検討していきます。
 - ・ 改正育児・介護休業法の令和7年4月施行及び10月施行や時差出勤制度導入により柔軟な働き方を実現するための環境整備を行い、仕事と家庭の両立を支援します。

3 事業課の主な事業内容

熊本県身体障害者福祉センター及び熊本県障害者スポーツ・文化協会と密接な連携・協力のもと事業を実施していきます（詳細は身体障害者福祉センターから説明）。

2 熊本県身体障害者福祉センター

1 概 要

熊本県身体障害者福祉センターは、昭和50年に熊本県から管理運営業務を受託し、平成18年度からは公募による指定管理者として選定され、障がい者の自立と社会参加を目的に各種相談をはじめ、健康増進や教養向上のためのスポーツ・文化教室等の開催やレクリエーション、スポーツ活動等の支援を行うとともに、障がい者への理解を深めるための啓発事業等に取り組んできたところです。

令和5年4月から新たに5年間（5期目）の指定を受け、引き続き法令・条例等に定める趣旨、目的に沿った管理運営を行っています。

令和6年度は、センター本館及び体育館の外壁工事等でご不便をおかけしましたが、利用者の方々のご理解や併設グラウンドでの駐車場確保等により、施設利用者の減少を押さえることができる見込みです。

令和7年度も隣接する福祉総合相談所の外壁工事が引続き予定されており、関係機関と協力して施設利用への影響ができるだけ少なくなるよう努めます。

2 主な事業内容（指定管理管理事業計画に基づく事業の実施）

（1）福祉の増進を図るための取組

ア 各種相談事業

障がい者の自立更生のために必要な健康・スポーツ、福祉機器、社会活動、就業等に関する相談に対して、県、市町村、福祉団体等と連携したきめ細かな相談を実施します。

また、多様化する相談内容等に対するきめ細かな相談支援を行うために、専門的な研修会への参加など積極的な人材の育成を図っていきます。

イ 障がい者スポーツ・レクリエーションの推進

障がいの程度に応じた水泳や水中運動教室・パラスポーツ教室の開催やパソコン・スマートフォンの活用方法・陶芸・茶道・料理・園芸・パステルアート・ヒーリングフラワー教室などの文化教室の開催を通して、障がい者の健康増進や心身のリフレッシュを図るとともに、教養の向上と生活の質的向上を図ることにより、より豊かな地域生活を実現するための教室を開催します。

ウ 宿泊施設の運営

熊本市近郊で開催されるレクリエーション、研修、スポーツ大会への参加時における宿泊施設として、また、通院、休養等のための宿泊施設として低廉な料金で宿泊室を提供し、障がい者の活動を支援します。

エ リフトバスの運行管理

専用リフトバス「ゆう2号」を活用して、レクリエーションやスポーツ大会、研修会等への参加、バスツアー事業の実施により障がい者の地域活動を支援します。

オ 備品等の貸出

当センターが保有する設備・備品等を貸し出すことにより地域で活動する障がい者や関係団体等の社会参加の促進や活動を支援します。

カ 疑似体験事業

障がい者や高齢者への理解と認識を深めるため、おもり等の装具を装着してその不便さや不自由さを体験するとともにサポート方法を学ぶ障がい等の疑似体験事業を行います。

キ ボランティア基礎講座

疑似体験及び手話等の講座を開催して、障がい者への理解と認識を深めるとともに、福祉センターが実施する事業や障がい者団体等が開催するスポーツ大会等への参加機会の拡大を図ります。

(2) 地域社会との交流と地域貢献する取組（地域における公益的な取組）

利用者間の相互交流を深めるとともに、地元の自治会や小・中学校など地域との連携を図り、利用者の社会参加を促進するために「福祉センター交流会」を開催します。

(3) 利用者サービス向上のための取組

ア スポーツ活動、健康づくり向上のための取組

これまでに開催したニュースポーツ教室の中で、特に利用者ニーズの高い種目を関係団体と連携して実施します。（ボッチャ・モルック教室等）

イ 文化活動推進のための取組

茶道や料理・パステルアート・ヒーリングフラワー教室など「文化教室」を開催し、利用者や各サークル等の活動成果の発表の場、各サークル、団体等の交流の場として多目的に活用を図ります。

ウ 利用者ニーズの把握

利用者ニーズを的確に把握するために、利用者アンケート調査を行い、利用者のニーズに沿った質の高いサービス提供を行います。

エ ロビーを活用した交流の場づくり

外部福祉関係団体と連携し、パンや野菜の販売等を行い利用者の拡大、交流促進を図ります。

オ 施設利用（予約）状況の公表

施設の空き時間が容易に把握できるようホームページ上に1週間の体育館の利用状況を提供し利用者の拡大に努めます。

(4) 熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携・協力

平成14年度から受託している熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局業務の円滑な運営を支援するため、協会主催の各種事業に人的体制を含め、協力するとともに、障がい者のスポーツ・文化教室などの事業についても連携を図りながら取り組みます。

3 事業課における主な事業

(1) 熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携・協力

障がい者スポーツ等の振興や各種サークル活動の効率的な普及を図るために、県からの依頼により、引き続き熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局の運営を受託します。協会主催の各種事業に協力するとともに、障がい者スポーツ・文化教室等の

事業についても熊本県身体障害者福祉センターとの連携を図りながら取り組みます。

(2) 熊本県障がい者スポーツ・文化関係事業の受託

事務局に事業課を設置して熊本県及び熊本市が主催する障がい者スポーツ・文化関係の次の2事業を受託し、熊本県身体障害者福祉センター及び熊本県障害者スポーツ・文化協会との連携により実施します。

【受託する事業】

① 「第24回くまもと障がい者スポーツ大会」開催事業

- ・令和7年4月20日(日) 水泳、フライングディスク(予定: パークドーム他)
- ・令和7年5月11日(日) ボッチャ(植木中央運動公園施設体育館)
- ・令和7年5月18日(日) 陸上(熊本県民総合運動公園)、
ボウリング(パスカワールド宇土)、
卓球(熊本県身体障害者福祉センター体育館)

② 第24回全国障害者スポーツ大会熊本県・熊本市選手団派遣事業

- (大会愛称: わたSHIGA輝く障スポ 大会スローガン: 湖国の感動 未来へつなぐ)
- ・開催期間: 令和7年(2025年)10月25日(土)~27日(月)
 - ・開催地: 滋賀県

3 熊本県ひばり園

1 概要

ひばり園は、昭和５６年に「難聴幼児通園施設」として開所し、平成２４年度からは「児童発達支援センター」として、児童発達支援事業と保育所等訪問支援事業を開始し、多職種の職員が連携し、きこえやことば・コミュニケーションに支援が必要な就学前のこどもさんに対して療育、幼稚園・保育園への支援を行っています。

令和６年度の制度改正で、児童発達支援センターは地域の支援体制の中核的な役割を担う施設として機能を充実させることが必要となり、令和７年度も更なる機能強化が求められていることから、支援の質を高め関係機関と連携して以下のことに取り組みます。

- (１) こどもさんの状況を客観的・的確に把握し保護者との共通理解のもと、こどもさんの能力を最大限に引き出せるような様々な専門的な支援を行います。
- (２) こどもさんと保護者へ質の高い支援を提供するため職員研修の充実を図ります。
- (３) 保育所等訪問支援事業、熊本県からの受託事業である難聴児療育拠点施設事業、熊本市からの受託事業である児童発達支援センター機能強化事業と熊本市療育等支援事業等を通して地域の関係機関との連携を図ります。

2 主な事業内容

(１) 児童発達支援事業（定員２８人）

- ・「児童発達支援ガイドライン」を踏まえ、障がいや発達の状態、家庭環境等を把握し、保護者とこどもさんの希望を反映させ作成した「個別支援計画」を基に、保護者同伴での個別・集団療育を行い、コミュニケーション力や全体発達を支援します。
- また、行事や保護者学習会・懇談会を開催し、知識や交流を深める機会を提供します。
- ・移行支援として保護者と共に移行支援シートの作成や学校との支援会議、卒園後においては、言語児は保護者懇談会、難聴児は聴力検査会や卒園児懇談会、中学３年生の集い等、保護者やこどもさんが集う機会や相談を受ける機会を設定します。

(２) 保育所等訪問支援事業

- ・保護者からの依頼で利用児が在籍する保育園・幼稚園等を訪問し、環境調整や関わり方の助言と保護者への報告を行い、利用児が普段生活している地域の集団の場で共に支援できるよう努めます。また、支援ニーズの高いご家庭やこどもさんに関しては、行政・保健師、児童発達支援事業所、相談支援事業所など関係機関との連携を深めます。
- ・保育園、幼稚園の先生方との連絡会を随時開催し、当園での療育の様子を参観していただき、情報交換・共有を行うなど、顔の見える関係を築きます。

(３) 熊本県及び熊本市からの受託事業

- ・熊本県から「難聴児療育拠点施設事業」、熊本市から「障がい児等療育支援事業」を受託し、福祉制度につながる前のこどもさんの相談・支援、卒園児に対する相談・聴力検査・聴力検査会等を実施します。
- ・熊本市から「熊本市児童発達支援センター機能強化事業」を受託し、東区内の事業所への巡回訪問や研修会の開催、市内の児童を対象に発達や言葉に関する相談を実施します。また、県や市の協議会に運営委員として参加し関係機関との連携に努めます。

(4) 地域における公益的な取組

支援につながる前の子どもさんや保護者が集う場として「ひばり園広場」を定期的に開催、また、東区発達支援ネットワークで保護者の学びと交流の場として開催されている「りらくまカフェ」に運営委員として参加します。

(5) 実習・ボランティアの育成

言語聴覚士、保育士養成校から4校の実習受入を予定するとともに、きょうだい児の保育や行事開催時のボランティアの受入を随時実施します。

(6) 利用者本位のサービスの充実と、安心して療育を受けることができる体制への取組

保護者、保育所等訪問支援実施園からの事業所評価を受け、職員会議で改善策等を検討し、ハード面ソフト面の改善、サービスの質の向上のため以下のとおり取り組みます。

- 1) 療育や保護者支援に関する専門的な内容、福祉職員としてのキャリアアップに必要な内容、感染症予防、緊急時の対応や虐待・ハラスメント等に関して、最新の知識や技術の習得のためオンラインを含む園内外の研修に参加し復命・対策をする、また職員がペアを作り療育内容も共有し互いに研鑽を積むことでケースの抱え込み防止と全体の資質の向上につながるよう努めます。

また、支援会議を充実させ、処遇困難事例については園全体で支援に取り組みます。

- 2) 園内の安全面・衛生面について、安全対策委員会、感染症対策委員会を中心に情報収集と利用者の意向を確認しながら対策を周知し、利用者が安心して療育が受けられるよう環境整備を行います。また、職員の安心安全も確保し、働きやすく自己研鑽できるような職場環境を整え、更なる人材の育成や確保に努めます。

(7) 苦情処理の対応

日頃から利用者が相談しやすい雰囲気づくりの推進や意見箱の活用を図るとともに、苦情が出された場合は苦情解決実施要領に則り、適時適切な解決に努めます。

(8) 虐待・身体拘束防止

虐待防止委員会を中心に、研修会の実施や『虐待身体拘束防止チェックリスト』をもとに自分では気づきにくい行動を評価しチームで話し合う場を設け、職員の更なる資質向上に取り組みます。また、処遇困難事例会議の随時開催や要保護児童支援のための関係機関との連携強化を通じ、虐待や身体拘束の防止を推進します。

(9) 関係機関との連携

児童発達支援センターに求められる地域の中核機能的な役割を果たすべく、関係機関との更なる連携を図ります。

具体的には、熊本市とは、機能強化事業受託に伴う行政、関係する福祉・教育・保育・医療機関との連携をはじめ「熊本市療育支援ネットワーク会議、東区発達支援ネットワーク会議、熊本市障がい者自立支援協議会子ども部会・本会議、熊本市発達障害者地域支援協議会」等への参加を通じて、熊本県とは「熊本県新生児聴覚検査推進検討会」等への参加を通じて、関係機関と協働で利用者を取り巻く環境や地域支援の充実を図るとともに、園としての専門性の向上に努めます。

(10) 収入確保のための対策

毎月の利用件数モニタリングやアンケート調査等を踏まえ、療育の質を落とさず利用件数を更に増やす方法の検討を進めます。

4 熊本県くすのき園

1 概要

熊本県くすのき園は、昭和56年10月に開設され本事業団が熊本県から管理運営を受託し、重度の障がい者に対し社会復帰と自立に必要な作業訓練・生活支援等、利用者のニーズに沿ったサービスを提供してきました。

平成19年4月から新事業体系に移行し、その都度実態に合わせて事業の検討を重ね、利用者のニーズに合わせた事業展開を実施してきました。

令和5年度には就労継続支援B型事業で、生活介護や介護保険の併給利用や通院等が増加し、利用率の低下が顕著となったことで、定員を30名から20名に見直しました。

現在は、就労継続支援B型事業が定員20名及び生活介護・施設入所支援事業が定員30名で実施しています。

昨今の高齢化や持病の悪化等による医療的ケアの必要な利用者の増加を踏まえ、令和6年度には在宅酸素療法を導入するとともに、令和7年度からは看護師を1名増員し、必要な医療的ケアに対応できる体制の整備を図ります。

また、令和7年度は入所利用者居住の個室化に取り組み、利用者のプライバシーの確保やより自宅生活に近い住環境の提供を図るとともに、新たに設置する地域連携推進会議を活用し、地域の人々への施設や利用者に関する更なる理解の促進を図ることで、地域に根付いた施設づくりを推進します。

就労継続支援B型事業では、更なる売り上げ向上のため、補助金等を活用して電子ジャガード式織込花筵織機を購入し、差別化した自社製品の開発に取り組めます。

2 主な事業内容

(1) 指定障害福祉サービス事業所

就労継続支援B型事業（20名定員）

就労経験がある方で、年齢や体力面で一般企業等に雇用されることが困難になった方、就労移行支援事業を利用した結果B型の利用が妥当と判断された方、既に50歳に達している方、または障害基礎年金1級受給の方を対象に、利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、個別支援計画を基に、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の便宜の供与を適切かつ効果的に行うよう努めます。

[生産活動支援]

ア 利用者に適した作業科目や作業量の確保及び作業の効率化を図り、安定的に工賃が支給できるように努めます。

イ 利用者一人ひとりの能力を最大限に引き出すため、本人の意向、適性、障がいの特性などを考慮して適正な配置と作業分担に努めます。

ウ 作業場の整備を図り、安全で働きやすい環境作りに努めます。

① 花筵製造科

電子ジャガード式織込花筵織機を購入し、顧客の希望に応じた自社デザインのい草製品開発に取り組めます。利用者デザインの製品づくりやオーダーメイド、色柄等の工夫による格安製品等、差別化したオリジナル商品の開発により、売上向上を図ります。

い草製品の新ブランドとして起ち上げた、「イイイ（いいね いい色香 いい草）」製品と、各種受賞歴が最も販売量の多い「い草コースター」等、熊本県の特産品として付加価値のある商品づくりを展開し、い草製品のPR活動と販路拡大に努めます。

「くすのきマルシェ」を開催し、利用者の地域交流と地域のい草文化の活性化に貢献しま

す。ホームページやSNSにより情報を発信することで、くすのき園の認知度向上と販売促進を目指します。

樹脂製品（PP）の発注元からの各種注文に対応し、増産に取り組みます。また、樹脂製品の製造で発生する樹脂端材を加工納品し、規格外製品は再生事業者に納めることで、産業廃棄物を出さず環境保全及び資源循環に役立てます。

② 自動車部品科

自動車部品科では、ホンダの各種部品の組み立て作業を行っています。

品質管理を徹底し、正確な作業と納品及び収入増を目指します。

③ 庭園管理業務

くすのき園の庭園管理を年間通して受託して行います。

④ クリーニング作業

ホンダ従業員のユニホームのクリーニングを請け負います。

⑤ リサイクル作業

作業で発生する段ボール、館内や職員持ち込みによる缶、ペットボトル等のリサイクル作業を行っています。

[生活支援]

レクリエーション（花見、新年会等）やくすのきマルシェ等への参加により、地域住民との交流、社会生活力の向上を目指します。

緊急時等、必要に応じて病院受診支援や相談支援事業所等、関係機関等と連携した支援を行います。

グループホーム利用者及び近隣の利用者に対しては、送迎を実施し利便性を確保します。

利用者通所状況（28名）	地域別利用者通所状況（28名）
・りんどう荘 19名 (グループホーム) Ⅰ 男性4名 女性2名 Ⅱ 男性3名 Ⅲ 男性5名 Ⅳ 女性5名 ・他のグループホーム 1名 男性1名 ・自宅 5名 男性3名 女性2名 ・くすのき園入所 3名 男性2名 女性1名	・宇城市 25名 ・八代市 1名 ・宇土市 2名

(令和7年2月1日現在)

[苦情対応]

週1回の相談日、月1回の利用者との懇談会を設け利用者の相談、要望、苦情等の対応を行います。苦情受付窓口として、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を施設内数ヶ所に掲示し、誠意をもって解決に努めます。相談ボックスの設置により、より相談しやすい環境づくりに取り組みます。

(2) 指定障害者支援施設

○生活介護事業（30名定員）

常時介護等の支援が必要な方で、障害支援区分3（併せて施設入所支援を利用する場合は区分4）以上である方、または年齢が50歳以上で、障害支援区分2（併せて施設入所支援を利用

する場合は区分3)以上である方を対象に、個別支援計画を基に、利用者一人ひとりに応じた適切な支援を実施します。

ア 日常生活支援

食事、入浴、排泄、服薬、居室の清掃、衣類の着脱、洗濯、整理等を支援し、日常生活を安心して快適に過ごせるように支援します。

イ 健康管理

定期健康診断や通院支援、服薬管理及び毎日のバイタルチェック等により、健康管理を支援します。

ウ 機能訓練

嘱託医の指示のもと作業療法士等によりリハビリ機器を活用した機能訓練を実施し、身体機能の維持向上に努めます。

また、訪問歯科医による毎週1回の訪問治療及びミールラウンドを実施し、咀嚼・嚥下機能の評価を行います。毎食前には嚥下体操の支援を行い、嚥下機能維持・向上の支援を行います。

e-スポーツを活用し、生きがいづくり、身体機能・認知機能・社会性向上等を目的とした支援を行います。

エ 介護用ロボットの活用

移乗サポートロボットの活用により、介護を受ける利用者の自立を支援するとともに、介護を行うスタッフの身体及び精神的な負担軽減を図り、より働きやすい職場環境の整備に努めます。

オ 生産・その他の活動

生産活動では、フルーツネットの折り返し作業を行い、工賃として支給します。

余暇活動として、各種ボードゲーム、習字、カラオケ、e-スポーツ等の趣味的活動の支援を実施し、充実した余暇活動を提供することで、楽しみや生きがいづくりを行います。

一人ひとりの希望する外出先に応じた、個別の外出レクリエーションを継続して実施することにより、利用者のQOLと満足度向上を図ります。

カ 送迎支援

通所利用者の安全な移動の確保のため、送迎支援を行います。

キ 職員研修

毎月職員研修を開催し、職員のスキル向上、メンタルヘルスケア、職場定着に努めます。

ク 苦情対応

週1回の相談日、月1回の利用者との懇談会を設け利用者の相談、要望、苦情等の対応を行います。苦情受付窓口として、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を施設内数ヶ所に掲示し、誠意をもって解決に努めます。

○施設入所支援事業（30名定員）

生活介護事業を利用するために入所された利用者を対象に、日中活動と併せて夜間等における排せつ、食事及び就寝・起床等の介助を提供して利用者の方々が安心して潤いのある生活が送れるよう必要な支援を行います。

夜間は、男性・女性各1名の生活支援員が勤務し、24時間体制で同性介助での利用者の支援を行います。

全館Wi-Fi環境を整え、デジタルインカム及びネックスピーカーの導入により、ナースコールや緊急時に、より迅速、確実に対応できる環境づくりに取り組みます。

ア 住環境の充実

居住棟を個室化し、利用者の生活空間をより自宅生活に近い環境でプライバシー保護に留意した住環境を提供します。今後も利用者の方が安心して快適な生活ができるように施設整備に

努めます。

イ 給食支援

平成30年度から給食業務を外部委託とし、安定・継続的な給食の提供に取り組んでいます。利用者の意見や要望を反映させるため年2回の嗜好調査を行い、定期的に委託業者と給食委員会を実施します。

利用者の状態に合わせた食事形態への対応や行事食、緊急時の食事提供等、業者と園で連携し安心・安定・充実した食事提供を行います。

ウ 緊急時の支援

緊急時における緊急連絡網を整備し、火災を想定した避難訓練及び救急講習を定期的に行います。自然災害や感染症等を想定し、業務継続計画（BCP）を基に事業継続のための対策を講じます。

エ 医療的ケアへの対応

医療的ケアの提供体制の整備により、加齢や疾病等により医療的ケアの必要になった利用者に、必要な医療処置を提供することで、本人の望む住み慣れた環境で可能な限り自立した生活の継続を支援します。

（３） 地域における公益的な取組

地域住民や地域の企業、福祉施設等に広報し、利用者と地域住民の交流の場となる催しとして、「くすのき園マルシェ」を開催します。熊本デザイン開発研究会会員出店によるい草製品の展示・販売会、バザー、eスポーツ体験等を行い、地域交流及び地域のい草文化の活性化に努めます。

（４） 感染症予防対策

業務継続計画（BCP）を基に、平常時の感染防止対策を徹底し、感染症発生時も人命の安全確保と必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築します。

（５） 意思決定支援

利用者一人一人の自己決定を尊重した支援の充実のため、利用者への情報提供と選択肢を広げるための社会資源の見学や体験等の機会づくりに取り組みます。

（６） 地域連携推進会議の開催及び構成員による施設見学の実施

地域連携推進会議を開催し、施設と地域が連携することにより、

- ・ 利用者と地域の関係づくり
- ・ 地域住民への施設や利用者に関する理解の促進
- ・ 施設やサービスの透明性及び質の確保
- ・ 利用者の権利擁護

に取り組みます。

5 熊本県りんどう荘

1 概要

熊本県りんどう荘は、身体障がい者の福祉の増進を図ることを目的に、全国初の身体障害者福祉ホームとして昭和61年に設置され、管理運営を熊本県から受託してきました。平成22年度に民営化され、同時に経営の見直しを行い、サービスの徹底と経営の安定を図るため、障害者福祉ホームから障害者グループホームへ移行しました。平成23年度には賃貸借契約により住居を3棟追加して定員を20名から37名へ変更し、現在、介護サービス包括型グループホームとして運営しています。

令和2年度から5年間の第3期施設設備整備計画に基づき、令和4年度までに昭和61年の設置当初から使用しているりんどう荘Ⅰの浴槽・浴室の改修や老朽化した浴室給湯用のボイラーの更新などを実施するとともに、りんどう荘Ⅰの男女浴室の手摺設置やりんどう荘ⅡⅢⅣのホールやベランダから避難するためのスロープ設置、防犯カメラの設置などの安全対策も行いました。

また、令和5年度は、りんどう荘Ⅰの正面玄関に設置している自動ドアの更新及びりんどう荘Ⅰの居室のエアコンの一部更新と、手狭となっている事務室の増築を行っています。

整備計画最終年度の令和6年度には、りんどう荘Ⅰの排煙装置の動作不具合に対応するため、排煙装置の更新を行うなど、計画に沿った整備を順調に実施してきています。また、加算制度を活用して新たに看護師を2名配置し、利用者の高齢化や障害の重度化に対応できる体制整備を行いました。

令和7年度においては、中期経営計画に示す実施計画に基づき、初めてとなる「福祉サービス第三者評価」を受審し、更なるサービス向上を図るとともに、新たに設置する地域連携推進会議を活用し、地域の人々への施設や利用者に関する更なる理解の促進を図ることで、地域に根付いた施設づくりを目指します。また、法人設立50周年記念事業としてホームページの刷新を行うなど、積極的なPR活動等による入所者の確保に全力で取り組みます。

2 主な事業内容

(1) 主体性のある自立的な生活への支援

ア 住環境の整備について、りんどう荘Ⅰの各居室の空調機（エアコン）も老朽化し、昨年も一部不具合が生じ取り換える状況となっておりその他の居室についても同様の状況にあることから、更新することとし、安全で快適な生活環境を整えます。

イ 自立した社会生活ができるように、日常的な生活の悩みをはじめ様々な社会資源の不明な点について相談に応じ、問題の解決や情報の提供に努めます。また、身体上等の理由による身の回りの支障やコミュニケーションの支障について支援を行います。

(2) 安全な生活を送るための支援及び介護

ア りんどう荘の入居者の現状は、令和7年3月現在で平均年齢が57歳10月、平均障害支援区分が2.9ですが、特にりんどう荘ⅡⅢⅣの平均障害支援区分は3.4と高くなっています。

また、加齢に伴う身体機能の低下や病気の悪化による医療受診は増加傾向にあり、支援、介護も増えていることから、令和6年度から行っている看護師2名の配置を継続し医療的な支援サービスの充実を図ります。

イ 入浴や洗濯物干し、薬付けなど日常的な生活動作において、安全に確実に行うことができるように障害の区分・程度に基づいて、状況に応じた必要な支援及び介護を行います。

ウ 定期的な服薬や医療機関への受診について、入居者のニーズに応じて、看護師2名による服薬の確認、医療機関への同行など必要な支援を行います。

エ 福祉車両については、令和3年度から軽の公用車3台体制をとっており、通院や行政手続きの送迎を中心に稼働する中、医療受診の増加にも対応できています。

オ 金銭管理について、利用料を始め日々の生活費の支払が安定せず、計画的にできないときは、その都度相談支援を行うほか、預かり金制度により支援を行います。

カ 上記の支援を円滑に実施するために、グーグルカレンダーやチャット等のICTを使用して職員の情報共有を行っています。

(3) 健康生活、緊急時等の支援

- ア 作りたての家庭食により健康生活が維持されるよう、食事提供を通じた支援を行います。嚥下障害のある場合は、刻み食など個別に支援を行います。また、四季折々の日本の風習に合わせた季節の食事や熊本の郷土料理を献立に取り入れて、地域色豊かな楽しい食事になるよう2カ月置きに食事提供会議を開催して献立に反映させています。
- イ 身体機能の維持について、継続的な取組を行うとともに、看護師2名配置による1人ひとりの健康管理を徹底して行います。加齢からくる機能の低下に対しては、医療保険による訪問リハビリ、介護保険や障害福祉サービスによるリハビリなどを活用するよう支援に努めます。この他、機能の低下を原因とする体調不良や病気の悪化により入院治療を行う事例が複数発生しています。このような場合には事前に身元引受人へ報告して対処しており、着替えの洗濯なども丁寧に支援を行います。
- ウ 急な体調の不良などが起きたときは24時間の対応を行うとともに、就労先等への連絡、調整を図り、医療機関への通院や看護の支援を看護師が行います。また、身元引受人へ報告し、必要に応じて支援を仰ぎます。その他、緊急時の対応について、従業員の緊急連絡網に基づいて適切に行うとともに、(2)の力で記載したICTの活用によりリアルタイムで利用者の状況を共有し必要な対応を行います。

(4) 防災意識の啓発、防災及び防犯設備

- ア 防災意識の啓発と安全を確保するために、入居者による自衛消防隊を編成し、消防訓練を実施します。また、火災を想定した訓練に加え、地震、風水害を想定した訓練を行います。
- イ 防災設備について、りんどう荘の4棟全てにセコム火災監視サービス・非常通報サービスを導入しているほか、自動火災報知設備を整備しています。特に、りんどう荘Ⅰについては、非常点灯装置を全居室に整備しており、入居する聴覚障害者の災害の発見・避難に遅れがないよう配慮しています。
- ウ 防犯設備について、暴漢が侵入した場合は、固定式若しくは携帯式のスイッチを押すことでセコムから警察署へ自動通報されます。そのほか、簡易の防犯ベルを携帯しています。
また、令和4年度は、不審者の侵入抑止効果を高めるために防犯カメラをりんどう荘各棟に設置しております。

(5) 共同生活の促進

- ア 相互に協力した清掃活動、共通の話題・問題を話し合う懇談会等については、コロナ禍の中で三密を避けることから、令和5年度の5月まで開催を見合わせていましたが、感染分類の見直し後から毎月1回開催しております。
懇談会では、入居者の意見を発表し、併せて、各棟に設置している意見箱をこの懇談会の場で開封して内容を確認することにより円滑な共同生活を促進します。
- イ 地域生活をより充実させるために、四季折々の風習に則る行事を楽しむよう支援します。
- ウ 豊福地区、久具地区の区民として各地域行事への参加や地域住民・ボランティアとの交流などを促進します。
- エ 各種のイベントや趣味の情報などの提供に努め、コロナ禍の中の余暇活動を支援します。

(6) 地域における公益的な取組

- 「Enjoy Life! りんどう荘」の実施に当たっては、感染症の状況を見極めた上で、開催か否かを判断します。
なお、令和5年度、6年度は「くすのき園マルシェ」との同時開催ができました。
開催する時は地域の機関を通して広報し、当日、地域・近隣の方を対象に、日頃りんどう荘が行っているサービスやノウハウについて紹介し、支援、介護の業務がどのようにご家庭でも活用できるか等、相談を通して提供します。

(7) 行政手続等の支援

- 障害により自分で行政手続等を行うことが困難な利用者や、平日が勤務で時間の取れない利用者の利便に供するため、各種の行政手続の代行について支援に努めます。

(8) 苦情相談、虐待防止・権利擁護体制の確立

入居者より事業所の提供するサービスについて苦情があったときは、「苦情相談体制」により苦情相談を円滑、円満に解決します。

虐待防止・権利擁護について、当事業団の虐待防止マニュアルに則り、日々倫理意識を高めるとともに、毎月研修を行います。併せて、個人情報保護についても同様に定期的に研修を行います。

(9) 福祉サービス第三者評価

サービスの質の向上と利用者の適切なサービス選択に資する情報提供のため、「福祉サービス第三者評価」を受審します。これにより評価結果を活用して更なるサービス向上を目指します。

(1 0) 地域連携推進会議

地域と施設が連携し、利用者と地域との関係づくりや地域の方への施設や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を開催します。

(1 1) 職員の資質の向上

職員の資質の向上を図るため、研修の充実を図ります。内部の研修は毎月、職員が交替で講師を担当して実施します。また、外部の各種研修会への参加を促進します。

(1 2) 経営の安定

事業所の円滑な運営を図るため、関係する法律、規則、制度の変更など常に情報の収集に心掛けるとともに、関係機関との密接な連携の下で、経営の安定に努めます。

(1 3) 新型コロナウイルスに対する感染防止策の徹底

直近3年間の感染状況は、令和4年12月には、りんどう荘Ⅰにおいて、新型コロナウイルス感染クラスターが発生しましたが、令和5年度は、職員2名の陽性判定のみで、利用者の感染はありませんでした。令和6年度には、利用者8名、職員が3名感染しましたが、何れも軽症で療養期間経過後には順調に回復しています。

今後も熊本県を始め関係機関の通知、指示、情報に従い、職員・利用者の感染防止の徹底に努めるとともに、日常における感染防止へのきめ細かな対応の徹底を図ります。

また、万一新型コロナウイルスの陽性者が発生した場合は、感染状況を迅速に把握して、感染者と他の入居者、職員との接触機会を可能な限りなくし、防護服使用や必要な消毒処理を行うなど、感染の拡大防止に努めます。

6 熊本県身体障害者能力開発センター

1 概要

熊本県身体障害者能力開発センターは、平成22年度から自立訓練（機能訓練）事業30人、生活介護事業10人、施設入所支援事業30人で新事業体系へ移行しましたが、自立訓練（機能訓練）事業においては、利用者の施設利用期間が従来の3年間から1年半に短縮されたことや介護保険の対象となる特定疾病の方が介護保険を優先的に利用することとなったことにより、利用者確保が難しくなりました。

その状況に対応するため、平成25年度から26年度にわたり、自立訓練（機能訓練）事業の定数を30人から15人に、生活介護事業の定数を10人から25人に変更しましたが、その後の加算制度の変更を踏まえ、生活介護事業人員配置体制加算（＋53単位）と、常勤看護職員等配置加算（＋9単位）の単価を上げるため、令和5年7月からは生活介護事業の定員を20名に減らしています。

更に、過去5年間の利用状況や今度の利用見込み等を踏まえ、令和7年1月からは、自立訓練（機能訓練）事業の定員数を15人から10人に変更し、合計定員で算定される生活介護の基本報酬の増加を図りました。

また、令和元年度に外壁改修、令和2年度に厨房改修、令和4年度に居室の個室化工事、令和6年度にはトイレ改修工事やリハビリ機器の更新等を実施し、施設における生活・訓練環境の整備を進めるとともに、ICTの導入等による職場環境の改善も図ってきました。

令和7年度においては、通所利用者の高齢化に伴い令和4年1月に指定を受けた共生型地域密着型通所介護事業を本格稼働するとともに、法人設立50周年を記念して行うホームページのリニューアルや事業説明会の開催、関係機関への積極的な働きかけを行い、利用者の確保に全力で取り組みます。

また、新たに設置する地域連携推進会議を活用し、地域の人々への施設や利用者に関する更なる理解の促進を図ることで、地域に根付いた施設づくりを目指します。

2 主な事業の内容

（1）日中活動

○自立訓練（機能訓練）事業及び共生型地域密着型通所介護事業（定員10人）

自立した日常生活・社会生活を送れるよう、身体機能の向上等の訓練を行います。

※自立訓練（機能訓練）の利用期間は18ヶ月ですが通所介護には利用期限はありません。

○生活介護事業（定員20人）

日常生活において介護を必要とする利用者に入浴・排泄・食事等の身のまわりの支援を行います。（障害程度区分3（施設入所支援を受ける方は区分4）以上、年齢が50歳以上の方は障害程度区分2（施設入所支援を受ける方は区分3）以上である方が対象となります。）

自立訓練（機能訓練）事業及び生活介護事業利用者に対して次の支援を実施します。

ア 機能訓練

嘱託医の指示のもと理学療法士等により利用者の身体機能の維持・向上の訓練を行います。

また、社会適応性を高めるために、車いす操作訓練、自助具や装具の利用支援、車いすや補装具等の申請、補装具修理や住宅改修の支援も行います。外出訓練についても積極的に行います。

イ 社会的・心理的リハ

利用者が社会生活力を高め、地域生活へスムーズに移行し安定した生活ができるよう住まい

及び日中活動の場の支援を行います。

また、利用者の社会生活の再構築のため相談業務に力を入れ、モチベーションの向上を図るとともに、傷病手当金、障害年金、雇用保険及び生活保護申請等により経済的基盤の確立を支援します。

ウ 健康管理に対する支援

定期健康診断や通院支援、服薬管理、栄養管理及び毎日のバイタルチェック等により健康管理を支援します。生活介護事業利用者に対しては、月 1 回嘱託医の診察があります。

エ 日常生活支援

食事、口腔ケア、入浴、排泄、居室の清掃、衣類の着脱等を支援し、快適な日常生活が過ごせるよう支援します。

オ QOL（生活の質）向上のための支援

楽しみのためのレクリエーションや福祉センターで開催される各種教室やサークル活動（書道、絵画、カラオケ）への参加などにより施設生活の質の向上を図ります。

カ パソコン訓練

利用者には、パソコンに触れ親しむためにインターネットの活用やワード・エクセルを学習して日常生活に活用できる訓練を行います。

例えば、計測した日々の体重や血圧を自らエクセルに記録し、グラフの推移を確認することで自分自身の健康管理を確認することにもパソコンを活用します。また、レクリエーション等で撮影した写真を使い、ワードで年賀状やカレンダーを作製します。

希望される利用者にはエクセルやワード等事務処理能力を高める訓練や、技能資格取得に向けた訓練を行います。職場復帰に向けた訓練も行います。

キ 基礎訓練

脳トレ、計算、漢字、クロスワード、塗り絵等の書字訓練や読書、手芸等、主に机上での訓練を中心に行います。巧緻作業や着替え訓練等それぞれの障害特性にあった訓練を実施します。

月に 1 回来所する言語聴覚士に利用者への訓練内容について指導を受けて効果的な訓練を提供しております。また、発音や嚥下に問題を抱えた利用者には嚥下体操や発声練習等の支援を行います。

（２）施設入所支援事業（定員 30 人）

機能訓練事業又は生活介護事業の利用者について日中活動と合わせて夜間等における入浴、排泄、食事の介助等を提供することを目的として必要な介助、支援等を実施します。

夜間は、2 名の生活支援員が勤務する体制を確保し、24 時間体制で利用者の支援を行います。

ア 給食の提供

給食の提供にあたっては定期的に給食委員会を実施し、利用者の意見や要望を重視しながら栄養士の献立により施設内で新鮮な旬の食材を使った料理を作り、栄養バランスのとれた心のこもった温かい料理を提供します。

また、利用者の状態に合わせた刻み食、トロミ食等の提供も行います。

イ 緊急時の対応

毎月避難訓練（偶数月は日中、奇数月は夜間）を行い、緊急時における緊急連絡網の周知、火災・地震等の災害への対応の周知を図り、利用者の安全確保に努めます。

（３）地域における公益的な取組

新たに地域連携推進会議を設置して、利用者・ご家族・地域の方々に施設の活動を見ていただきご意見をうかがうことで、地域に根ざした施設づくりを目指します。

また、福祉センター地域交流会において、健康チェック（血管年齢測定・ストレス度測定・血圧・酸素量等のバイタル測定）により、自分の健康状態を把握し、地域で安定した生活を送ることができるよう支援します。

（４）職員の資質の向上

施設内職員研修として毎月研修の時間を確保し、障害者福祉の理解とスキル向上を目指します。セクハラ防止、感染症予防、個人情報保護、人権教育、虐待防止等の研修も行う予定です。

更に、生活介護利用者の障害の重度化に伴い、身体介護等の専門性がより求められるようになりつつあり、外部研修への参加や介護福祉士等の資格取得についても積極的に支援します。

（５）苦情対策

月に１回利用者との懇談会を開催します。また、施設内にご意見箱を設置しており、利用者及び関係者からの様々な苦情や要望に対して、その解決を目指します

些細なことでも苦情や要望が施設職員に届くように、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の氏名及び連絡先を明示して、施設内数ヶ所に掲示しています。年度終了後には１年間の苦情や要望をまとめて第三者委員に報告します。

（６）福祉サービスの質の向上に向けた取組

令和６年度に初めて受審した「福祉サービス第三者評価」の結果を踏まえ、更なるサービスの質の向上を目指すとともに、利用者等への情報提供を推進するため、評価結果がわかり次第公表する予定です。

（７）新型コロナウイルス感染対策

令和６年度もこれまでに（Ｒ７．１末）９件の新型コロナウイルス感染事案が発生しましたが、いずれのケースもクラスターに発展することなく抑え込むことができました。引き続き感染防止対策に努め、感染予防の徹底を図ります。

7 熊本県社会福祉事業団相談支援事業所事業計画

1 概 要

「熊本県社会福祉事業団相談支援事業所は平成25年4月に事業を開始し、現在は相談支援専門員4人の体制で支援を行っています。

多様な相談ニーズに応えるため、職員の資質向上に努めるとともに、基幹相談支援センターや関連事業所と連携した取組みを進めます。

令和6年度の支援件数は計画作成261件、モニタリング490件、計751件となる見込みで、これは前年度より20件ほど増加しているものの、過去5年間の平均（775件）には及ばないため、令和7年度は、改めて効率化できる点を洗い出し、780件の達成を目指します。

2 主な事業の内容

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

（1）基本相談支援

障害者や障害児・その家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の他、必要な便宜を供与する支援を行います。

（2）計画作成及びモニタリングの支援

障害者や障害児が障害福祉サービスを利用する際に、サービス等利用計画を作成し、一定期間毎にモニタリングを実施する等の支援を行います。

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団

令和7年度収入支出予算

1 法人会計

2 社会福祉事業区分

- (1) 法人本部拠点区分
- (2) 身体障害者福祉センター拠点区分
- (3) ひばり園拠点区分
- (4) くすのき園拠点区分
- (5) りんどう荘拠点区分
- (6) 身体障害者能力開発センター拠点区分
- (7) 相談支援事業所拠点区分

3 公益事業区分

- (1) 国際障害者年記念基金事業拠点区分
- (2) 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分
- (3) 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分

令和7年度 法人会計 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259	介護保険事業収入		872	1,243	△ 371	
	03 地域密着型介護料収入		820	1,235	△ 415	
		01 介護報酬収入	738	1,112	△ 374	
		04 介護負担金収入（一般）	82	123	△ 41	
	05 利用者等利用料収入		52	8	44	
		05 食費収入（一般）	52	8	44	
263	就労支援事業収入		8,846	8,846	0	
	01 花蒔加工販売事業収入		6,300	6,300	0	
	02 加工委託事業収入		2,546	2,546	0	
264	障害福祉サービス等事業収入		594,591	596,480	△ 1,889	
	01 自立支援給付費収入		410,506	407,863	2,643	
		01 介護給付費収入	256,336	245,402	10,934	
		02 訓練等給付費収入	147,587	156,208	△ 8,621	
		04 計画相談支援給付費収入	6,583	6,253	330	
	02 障害児施設給付費収入		113,408	117,728	△ 4,320	
		01 障害児通所給付費収入	103,422	107,942	△ 4,520	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,986	9,786	200	
	03 利用者負担金収入		41,090	41,798	△ 708	
	04 補足給付費収入		12,535	10,908	1,627	
		01 特定障害者特別給付費収入	12,535	10,908	1,627	
	05 特定費用収入		16,250	15,525	725	
	06 その他の事業収入		802	2,658	△ 1,856	
		01 補助金事業収入（公費）	790	2,642	△ 1,852	
		05 その他の事業収入	12	16	△ 4	
267	受託事業収入		107,436	98,737	8,699	
	01 受託事業収入		105,926	97,297	8,629	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	
		02 くまもと障がい者スポーツ大会受託収入	7,234	6,976	258	
		03 全国障害者ｽﾎﾟｰﾂ大会選手団派遣事業受託収入	37,593	30,031	7,562	
		05 熊本県スポーツ文化協会事務局受託収入	3,386	3,313	73	
		06 地域療育等支援事業収入	7,013	6,277	736	
	02 施設利用料収入		1,510	1,440	70	
268	その他の事業収入		1,385	710	675	
	01 利用料収入		450	450	0	
	02 その他の事業収入		935	260	675	
		01 補助金事業収入	675	0	675	
		03 その他の事業収入	260	260	0	
270	経常経費寄付金収入		11	1	10	
271	受取利息配当金収入		100	54	46	
272	その他の収入		1,349	1,476	△ 127	
	01 受入研修費収入		45	40	5	
	02 利用者等外給食費収入		458	462	△ 4	
	03 雑収入		846	974	△ 128	
	事業活動収入計		714,590	707,547	7,043	
275	施設整備等補助金収入		53,760	0	53,760	
	01 施設整備等補助金収入		53,760	0	53,760	
	施設整備等収入計		53,760	0	53,760	

令和7年度 法人会計 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
286	積立資産取崩収入		29,397	19,100	10,297	
	05	施設・設備等整備改修積立資産取崩収入	23,950	16,500	7,450	
	06	経営安定化積立資産取崩収入	3,000	2,000	1,000	
	07	設備等整備積立資産取崩収入	1,547	0	1,547	
	09	国際障害者年記念基金積立資産取崩収入	900	600	300	
293	事業区分間繰入金収入		1,580	1,595	△ 15	
	01	スポーツ関係事業事業区分間繰入金収入	948	957	△ 9	
	02	スポーツ協会事務局事業区分間繰入金収入	632	638	△ 6	
294	拠点区分間繰入金収入		28,542	28,225	317	
	01	福祉センター拠点区分間繰入金収入	1,580	1,595	△ 15	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金収入	4,150	4,307	△ 157	
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,576	6,755	△ 179	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,752	4,278	474	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,776	8,604	172	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	708	686	22	
	07	法人本部拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	
その他の活動収入計			59,519	48,920	10,599	
資金当期収入計			827,869	756,467	71,402	

令和7年度 法人会計 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

法人会計

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		469,249	451,786	17,463	
	01	役員報酬支出	5,916	5,988	△ 72	
	02	職員給料支出	112,172	118,205	△ 6,033	
	03	職員賞与支出	30,618	30,591	27	
	05	非常勤職員給与支出	243,886	221,168	22,718	
	07	退職給付支出	12,995	12,091	904	
	08	法定福利費支出	63,662	63,743	△ 81	
202	事業費支出		111,741	101,731	10,010	
	01	給食費支出	34,515	32,422	2,093	
	05	保健衛生費支出	5,981	4,118	1,863	
	08	教養娯楽費支出	2,306	2,329	△ 23	
	12	水道光熱費支出	35,227	35,331	△ 104	
	13	燃料費支出	8,260	5,178	3,082	
	15	消耗器具備品費支出	10,409	8,163	2,246	
	16	保険料支出	1,352	1,298	54	
	17	賃借料支出	5,029	4,475	554	
	18	教育指導費支出	1,501	1,415	86	
	21	車両費支出	5,961	6,132	△ 171	
	22	助成金支出	900	600	300	
	23	雑支出	300	270	30	
203	事務費支出		146,897	130,304	16,593	
	01	福利厚生費支出	3,558	3,075	483	
	02	職員被服費支出	514	364	150	
	03	旅費交通費支出	10,256	5,341	4,915	
	04	研修研究費支出	3,787	3,447	340	
	05	事務消耗品費支出	7,547	6,420	1,127	
	06	印刷製本費支出	205	185	20	
	07	水道光熱費支出	300	200	100	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	16,035	17,123	△ 1,088	
	10	通信運搬費支出	4,601	4,564	37	
	11	会議費支出	467	440	27	
	13	業務委託費支出	45,650	41,362	4,288	
	14	手数料支出	2,019	1,993	26	
	15	保険料支出	3,774	2,830	944	
	16	賃借料支出	19,930	18,208	1,722	
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,064	0	
	18	租税公課支出	5,567	4,097	1,470	
	19	保守料支出	6,085	5,786	299	
	20	渉外費支出	1,590	90	1,500	
	21	諸会費支出	1,145	825	320	
	23	雑支出	8,783	8,870	△ 87	
204	就労支援事業支出		12,085	8,846	3,239	
	01	就労支援事業販売原価支出	11,478	8,364	3,114	
		01 就労支援事業製造原価支出	11,478	8,364	3,114	
	02	就労支援事業販管費支出	607	482	125	
214	その他の支出		436	455	△ 19	
	01	利用者等外給食費支出	436	455	△ 19	
		事業活動支出計	740,408	693,122	47,286	

令和7年度 法人会計 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人会計
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
222	固定資産取得支出		87,541	21,500	66,041	
	02	建物取得支出	66,700	11,700	55,000	
	03	構築物取得支出	2,000	0	2,000	
	04	機械及び装置取得支出	5,500	0	5,500	
	06	器具及び備品取得支出	6,143	9,800	△ 3,657	
	07	建設仮勘定取得支出	3,500	0	3,500	
	10	ソフトウェア取得支出	3,698	0	3,698	
224	ファイナンス・リース債務の返済支出		620	0	620	
	施設整備等支出計		88,161	21,500	66,661	
242	事業区分間繰入金支出		1,580	1,595	△ 15	
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金支出	948	957	△ 9	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金支出	632	638	△ 6	
243	拠点区分間繰入金支出		28,542	28,226	316	
	01	福祉センター拠点区分間繰入金支出	1,580	1,595	△ 15	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金支出	4,150	4,307	△ 157	
	03	開発センター拠点区分間繰入金支出	6,576	6,755	△ 179	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金支出	4,752	4,278	474	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金支出	8,776	8,605	171	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金支出	708	686	22	
	07	法人本部拠点区分間繰入金支出	2,000	2,000	0	
	その他の活動支出計		30,122	29,821	301	
248	予備費支出		27,550	14,298	13,252	
	資金当期支出計		886,241	758,741	127,500	
	当期資金収支差額合計		△ 58,372	△ 2,274	△ 56,098	
前期末支払資金残高(見込額)			323,212			
当期末支払資金残高			264,840			

令和7年度 社会福祉事業区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259	介護保険事業収入		872	1,243	△ 371	
	03 地域密着型介護料収入		820	1,235	△ 415	
		01 介護報酬収入	738	1,112	△ 374	
		04 介護負担金収入（一般）	82	123	△ 41	
	05 利用者等利用料収入		52	8	44	
		05 食費収入（一般）	52	8	44	
263	就労支援事業収入		8,846	8,846	0	
	01 花蒔加工販売事業収入		6,300	6,300	0	
	02 加工委託事業収入		2,546	2,546	0	
264	障害福祉サービス等事業収入		594,591	596,480	△ 1,889	
	01 自立支援給付費収入		410,506	407,863	2,643	
		01 介護給付費収入	256,336	245,402	10,934	
		02 訓練等給付費収入	147,587	156,208	△ 8,621	
		04 計画相談支援給付費収入	6,583	6,253	330	
	02 障害児施設給付費収入		113,408	117,728	△ 4,320	
		01 障害児通所給付費収入	103,422	107,942	△ 4,520	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,986	9,786	200	
	03 利用者負担金収入		41,090	41,798	△ 708	
	04 補足給付費収入		12,535	10,908	1,627	
		01 特定障害者特別給付費収入	12,535	10,908	1,627	
	05 特定費用収入		16,250	15,525	725	
	06 その他の事業収入		802	2,658	△ 1,856	
		01 補助金事業収入（公費）	790	2,642	△ 1,852	
		05 その他の事業収入	12	16	△ 4	
267	受託事業収入		59,223	58,417	806	
	01 受託事業収入		57,713	56,977	736	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	
		06 地域療育等支援事業収入	7,013	6,277	736	
	02 施設利用料収入		1,510	1,440	70	
268	その他の事業収入		735	60	675	
	02 その他の事業収入		735	60	675	
		01 補助金事業収入	675	0	675	
		03 その他の事業収入	60	60	0	
270	経常経費寄付金収入		11	1	10	
271	受取利息配当金収入		98	52	46	
272	その他の収入		1,349	1,476	△ 127	
	01 受入研修費収入		45	40	5	
	02 利用者等外給食費収入		458	462	△ 4	
	03 雑収入		846	974	△ 128	
	事業活動収入計		665,725	666,575	△ 850	
275	施設整備等補助金収入		53,760	0	53,760	
	01 施設整備等補助金収入		53,760	0	53,760	
	施設整備等収入計		53,760	0	53,760	
286	積立資産取崩収入		28,497	18,500	9,997	
	05 施設・設備等整備改修積立資産取崩収入		23,950	16,500	7,450	
	06 経営安定化積立資産取崩収入		3,000	2,000	1,000	
	07 設備等整備積立資産取崩収入		1,547	0	1,547	
293	事業区分間繰入金収入		1,580	1,595	△ 15	
	01 スポ文関係事業事業区分間繰入金収入		948	957	△ 9	
	02 スポ文協会事務局事業区分間繰入金収入		632	638	△ 6	

令和7年度 社会福祉事業区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
294	拠点区分間繰入金収入		28,542	28,225	317	
	01	福祉センター拠点区分間繰入金収入	1,580	1,595	△ 15	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金収入	4,150	4,307	△ 157	
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,576	6,755	△ 179	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,752	4,278	474	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,776	8,604	172	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	708	686	22	
	07	法人本部拠点区分間繰入金収入	2,000	2,000	0	
	その他の活動収入計		58,619	48,320	10,299	
	資金当期収入計		778,104	714,895	63,209	

令和7年度 社会福祉事業区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		455,356	438,784	16,572	
	01	役員報酬支出	5,916	5,988	△ 72	
	02	職員給料支出	110,225	114,510	△ 4,285	
	03	職員賞与支出	30,051	29,541	510	
	05	非常勤職員給与支出	234,895	215,226	19,669	
	07	退職給付支出	12,444	11,555	889	
	08	法定福利費支出	61,825	61,964	△ 139	
202	事業費支出		110,841	101,131	9,710	
	01	給食費支出	34,515	32,422	2,093	
	05	保健衛生費支出	5,981	4,118	1,863	
	08	教養娯楽費支出	2,306	2,329	△ 23	
	12	水道光熱費支出	35,227	35,331	△ 104	
	13	燃料費支出	8,260	5,178	3,082	
	15	消耗器具備品費支出	10,409	8,163	2,246	
	16	保険料支出	1,352	1,298	54	
	17	賃借料支出	5,029	4,475	554	
	18	教育指導費支出	1,501	1,415	86	
	21	車両費支出	5,961	6,132	△ 171	
	23	雑 支 出	300	270	30	
203	事務費支出		113,270	103,415	9,855	
	01	福利厚生費支出	3,482	2,999	483	
	02	職員被服費支出	490	340	150	
	03	旅費交通費支出	1,162	1,160	2	
	04	研修研究費支出	3,787	3,447	340	
	05	事務消耗品費支出	7,279	6,176	1,103	
	06	印刷製本費支出	205	185	20	
	09	修繕費支出	15,735	16,328	△ 593	
	10	通信運搬費支出	4,481	4,467	14	
	11	会議費支出	203	185	18	
	13	業務委託費支出	43,953	39,756	4,197	
	14	手数料支出	1,990	1,962	28	
	15	保険料支出	3,484	2,589	895	
	16	賃借料支出	7,622	7,658	△ 36	
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,064	0	
	18	租税公課支出	3,519	2,252	1,267	
	19	保守料支出	6,035	5,736	299	
	20	渉外費支出	1,590	90	1,500	
	21	諸会費支出	1,145	825	320	
	23	雑 支 出	2,044	2,196	△ 152	
204	就労支援事業支出		12,085	8,846	3,239	
	01	就労支援事業販売原価支出	11,478	8,364	3,114	
		01 就労支援事業製造原価支出	11,478	8,364	3,114	
	02	就労支援事業販管費支出	607	482	125	
214	その他の支出		436	455	△ 19	
	01	利用者等外給食費支出	436	455	△ 19	
		事業活動支出計	691,988	652,631	39,357	

令和7年度 社会福祉事業区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
社会福祉事業区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
222	固定資産取得支出		87,541	21,500	66,041	
	02 建物取得支出		66,700	11,700	55,000	
	03 構築物取得支出		2,000	0	2,000	
	04 機械及び装置取得支出		5,500	0	5,500	
	06 器具及び備品取得支出		6,143	9,800	△ 3,657	
	07 建設仮勘定取得支出		3,500	0	3,500	
	10 ソフトウェア取得支出		3,698	0	3,698	
224	ファイナンス・リース債務の返済支出		620	0	620	
	施設整備等支出計		88,161	21,500	66,661	
243	拠点区分間繰入金支出		28,542	28,226	316	
	01 福祉センター拠点区分間繰入金支出		1,580	1,595	△ 15	
	02 ひばり園拠点区分間繰入金支出		4,150	4,307	△ 157	
	03 開発センター拠点区分間繰入金支出		6,576	6,755	△ 179	
	04 りんどう荘拠点区分間繰入金支出		4,752	4,278	474	
	05 くすのき園拠点区分間繰入金支出		8,776	8,605	171	
	06 相談支援事業所拠点区分間繰入金支出		708	686	22	
	07 法人本部拠点区分間繰入金支出		2,000	2,000	0	
	その他の活動支出計		28,542	28,226	316	
248	予備費支出		26,000	14,150	11,850	
	資金当期支出計		834,691	716,507	118,184	
	当期資金収支差額合計		△ 56,587	△ 1,612	△ 54,975	
前期末支払資金残高(見込額)			311,353			
当期末支払資金残高			254,766			

令和7年度 法人本部拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
法人本部拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
271		受取利息配当金収入	50	4	46	
272		その他の収入	0	58	△ 58	
	03	雑収入	0	58	△ 58	
		事業活動収入計	50	62	△ 12	
293		事業区分間繰入金収入	1,580	1,595	△ 15	
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金収入	948	957	△ 9	本部運営経費
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金収入	632	638	△ 6	本部運営経費
294		拠点区分間繰入金収入	26,542	26,225	317	
	01	福祉センター拠点区分間繰入金収入	1,580	1,595	△ 15	本部運営経費
	02	ひばり園拠点区分間繰入金収入	4,150	4,307	△ 157	本部運営経費
	03	開発センター拠点区分間繰入金収入	6,576	6,755	△ 179	本部運営経費
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金収入	4,752	4,278	474	本部運営経費
	05	くすのき園拠点区分間繰入金収入	8,776	8,604	172	本部運営経費
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金収入	708	686	22	本部運営経費
		その他の活動収入計	28,122	27,820	302	
		資金当期収入計	28,172	27,882	290	

令和7年度 法人本部拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

法人本部拠点区分

(単位：千円)

(支出の部)

科		目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			22,118	21,894	224	
	01	役員報酬支出	5,916	5,988	△ 72	
	02	職員給料支出	3,300	3,096	204	
	03	職員賞与支出	989	919	70	
	05	非常勤職員給与支出	8,544	8,544	0	
	07	退職給付支出	410	403	7	
	08	法定福利費支出	2,959	2,944	15	
203 事務費支出			8,418	4,428	3,990	
	01	福利厚生費支出	123	137	△ 14	
	02	職員被服費支出	40	40	0	
	03	旅費交通費支出	314	378	△ 64	
	04	研修研究費支出	937	1,429	△ 492	
	05	事務消耗品費支出	818	620	198	
	09	修繕費支出	50	50	0	
	10	通信運搬費支出	304	250	54	
	11	会議費支出	30	30	0	
	13	業務委託費支出	2,331	831	1,500	空調設備調査費他
	14	手数料支出	168	144	24	
	15	保険料支出	150	150	0	
	16	賃借料支出	24	24	0	
	18	租税公課支出	1,210	10	1,200	障害者雇用納付金
	19	保守料支出	106	22	84	
	20	渉外費支出	1,550	50	1,500	50周年記念事業費用
	21	諸会費支出	218	218	0	
	23	雑 支 出	45	45	0	
事業活動支出計			30,536	26,322	4,214	
222 固定資産取得支出			450	0	450	
	06	器具及び備品取得支出	250	0	250	パソコン1台
	10	ソフトウェア取得支出	200	0	200	会計システム1台新設
施設整備等支出計			450	0	450	
243 拠点区分間繰入金支出			2,000	2,000	0	
	07	法人本部拠点区分間繰入金支出	2,000	2,000	0	相談支援事業所運営資金
その他の活動支出計			2,000	2,000	0	
248 予備費支出			500	500	0	
資金当期支出計			33,486	28,822	4,664	
当期資金収支差額合計			△ 5,314	△ 940	△ 4,374	
前期末支払資金残高(見込)			15,583			
当期末支払資金残高			10,269			

令和7年度 身体障害者福祉センター拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者福祉センター拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267	受託事業収入		52,210	52,140	70	
	01 受託事業収入		50,700	50,700	0	
		01 福祉センター指定管理受託収入	50,700	50,700	0	指定管理料
	02 施設利用料収入		1,510	1,440	70	体育館利用料
268	その他の事業収入		60	60	0	
	02 その他の事業収入		60	60	0	
		03 その他の事業収入	60	60	0	兼務職員分
271	受取利息配当金収入		3	3	0	
272	その他の収入		400	470	△ 70	
	03 雑収入		400	470	△ 70	自動販売機手数料
事業活動収入計			52,673	52,673	0	
資金当期収入計			52,673	52,673	0	

令和7年度 身体障害者福祉センター拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者福祉センター拠点区分
(単位：千円)

科 目		本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分				
201 人件費支出		17,257	22,156	△ 4,899	
	02 職員給料支出	1,946	5,211	△ 3,265	正職員 1 名 (50%)
	03 職員賞与支出	566	1,485	△ 919	正職員 1 名 (50%)
	05 非常勤職員給与と支出	12,100	11,727	373	非常勤職員 4 名
	07 退職給付支出	683	668	15	正職員 1 名・非常勤職員 4 名
	08 法定福利費支出	1,962	3,065	△ 1,103	正職員 1 名・非常勤職員 4 名
202 事業費支出		9,422	9,193	229	
	12 水道光熱費支出	5,360	5,360	0	
	13 燃料費支出	100	100	0	
	15 消耗器具備品費支出	1,075	875	200	教室用パソコン 2 台購入
	16 保険料支出	725	725	0	
	17 賃借料支出	794	794	0	
	18 教育指導費支出	498	469	29	講師謝金単価増
	21 車両費支出	850	850	0	
	23 雑 支 出	20	20	0	
203 事務費支出		21,822	21,489	333	
	01 福利厚生費支出	111	111	0	
	02 職員被服費支出	30	30	0	
	03 旅費交通費支出	63	63	0	
	04 研修研究費支出	214	124	90	管理運営研修会参加費増
	05 事務消耗品費支出	580	480	100	見込額増の為
	06 印刷製本費支出	30	30	0	
	09 修繕費支出	2,407	2,290	117	LAN配線工事・防犯カメラ入替
	10 通信運搬費支出	435	435	0	
	11 会議費支出	13	13	0	
	13 業務委託費支出	14,064	13,916	148	リフトバス運転委託他
	14 手数料支出	140	140	0	
	16 賃借料支出	271	271	0	
	18 租税公課支出	1,623	1,571	52	
	19 保守料支出	1,485	1,395	90	契約見込額増
	20 渉外費支出	20	20	0	
	21 諸会費支出	17	17	0	
	23 雑 支 出	319	583	△ 264	求人費用等
事業活動支出計		48,501	52,838	△ 4,337	
222 固定資産取得支出		451	250	201	
	06 器具及び備品取得支出	253	250	3	
	10 ソフトウェア取得支出	198	0	198	会計システムクライアント追加費用
施設整備等支出計		451	250	201	
243 拠点区分間繰入金支出		1,580	1,595	△ 15	
	01 福祉センター拠点区分間繰入金支出	1,580	1,595	△ 15	
その他の活動支出計		1,580	1,595	△ 15	
248 予備費支出		1,500	150	1,350	
資金当期支出計		52,032	54,833	△ 2,801	
当期資金収支差額合計		641	△ 2,160	2,801	
前期末支払資金残高（見込額）		36,617			
当期末支払資金残高		37,258			

令和7年度 ひばり園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(収入の部)

ひばり園拠点区分

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
264	障害福祉サービス等事業収入		113,652	118,608	△ 4,956	
	02 障害児施設給付費収入		103,422	107,942	△ 4,520	利用件数積算による減
		01 障害児通所給付費収入	103,422	107,942	△ 4,520	
	03 利用者負担金収入		10,164	10,422	△ 258	
	06 その他の事業収入		66	244	△ 178	
		01 補助金事業収入（公費）	66	244	△ 178	
267	受託事業収入		7,013	6,277	736	
	01 受託事業収入		7,013	6,277	736	
		06 地域療育等支援事業収入	7,013	6,277	736	
270	経常経費寄付金収入		1	1	0	
271	受取利息配当金収入		20	20	0	
272	その他の収入		100	100	0	
	03 雑収入		100	100	0	
事業活動収入計			120,786	125,006	△ 4,220	
資金当期収入計			120,786	125,006	△ 4,220	

令和7年度 ひばり園拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

(支出の部)

ひばり園拠点区分

(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		87,782	82,444	5,338	
	02	職員給料支出	38,038	37,583	455	給与改定による増
	03	職員賞与支出	11,167	9,424	1,743	
	05	非常勤職員給与支出	24,497	22,151	2,346	給与改定による増
	07	退職給付支出	1,456	1,433	23	
	08	法定福利費支出	12,624	11,853	771	
202	事業費支出		5,194	4,503	691	
	05	保健衛生費支出	399	367	32	
	12	水道光熱費支出	3,000	3,000	0	
	15	消耗器具備品費支出	690	325	365	療育室カーテン工事による増
	16	保険料支出	130	130	0	
	17	賃借料支出	52	42	10	
	18	教育指導費支出	553	426	127	
	21	車両費支出	320	163	157	
	23	雑 支 出	50	50	0	
203	事務費支出		8,636	8,198	438	
	01	福利厚生費支出	272	270	2	
	03	旅費交通費支出	133	133	0	
	04	研修研究費支出	450	450	0	
	05	事務消耗品費支出	780	591	189	
	09	修繕費支出	2,450	2,720	△ 270	
	10	通信運搬費支出	460	424	36	
	11	会議費支出	10	10	0	
	13	業務委託費支出	1,480	1,408	72	
	14	手数料支出	216	217	△ 1	
	15	保険料支出	274	224	50	
	16	賃借料支出	1,454	1,144	310	複合機、サーバリースによる増
	18	租税公課支出	65	50	15	
	19	保守料支出	457	442	15	
	20	渉外費支出	20	20	0	
	21	諸会費支出	95	75	20	
	23	雑 支 出	20	20	0	
	事業活動支出計		101,612	95,145	6,467	
222	固定資産取得支出		1,500	500	1,000	
	02	建物取得支出	700	0	700	廊下照明機器増設により
	06	器具及び備品取得支出	800	500	300	療育用ソフトブロック購入
	施設整備等支出計		1,500	500	1,000	
243	拠点区分間繰入金支出		4,150	4,307	△ 157	
	02	ひばり園拠点区分間繰入金支出	4,150	4,307	△ 157	
	その他の活動支出計		4,150	4,307	△ 157	
248	予備費支出		2,500	1,000	1,500	
	資金当期支出計		109,762	100,952	8,810	
	当期資金収支差額合計		11,024	24,054	△ 13,030	

前期末支払資金残高（見込額）	103,673		
当期末支払資金残高	114,697		

令和7年度 くすのき園拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
くすのき園拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
263	就労支援事業収入		8,846	8,846	0	
	01	花蒔加工販売事業収入	6,300	6,300	0	
	02	加工委託事業収入	2,546	2,546	0	
264	障害福祉サービス等事業収入		223,486	220,071	3,415	
	01	自立支援給付費収入	203,434	199,152	4,282	
		01 介護給付費収入	145,659	141,943	3,716	
		02 訓練等給付費収入	57,775	57,209	566	
	03	利用者負担金収入	0	111	△ 111	
	04	補足給付費収入	3,360	3,360	0	
		01 特定障害者特別給付費収入	3,360	3,360	0	
	05	特定費用収入	16,250	15,525	725	
	06	その他の事業収入	442	1,923	△ 1,481	
		01 補助金事業収入（公費）	430	1,907	△ 1,477	処遇改善支援給付金終了
		05 その他の事業収入	12	16	△ 4	
270	経常経費寄付金収入		10	0	10	
271	受取利息配当金収入		9	9	0	
272	その他の収入		250	204	46	
	01	受入研修費収入	40	40	0	
	02	利用者等外給食費収入	68	22	46	
	03	雑収入	142	142	0	
	事業活動収入計		232,601	229,130	3,471	
275	施設整備等補助金収入		53,760	0	53,760	
	01	施設整備等補助金収入	53,760	0	53,760	ヤマト財団・丸紅基金・個室化補助金
	施設整備等収入計		53,760	0	53,760	
286	積立資産取崩収入		25,497	6,500	18,997	
	05	施設・設備等整備改修積立資産取崩収入	23,950	6,500	17,450	個室化・高圧ケーブルの自己負担分取り崩し
	07	設備等整備積立資産取崩収入	1,547	0	1,547	織機・デザインソフト自己負担分取り崩し
	その他の活動収入計		25,497	6,500	18,997	
	資金当期収入計		311,858	235,630	76,228	

令和7年度 くすのき園拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
くすのき園拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		145,889	130,119	15,770	
	02	職員給料支出	31,271	34,050	△ 2,779	
	03	職員賞与支出	7,654	8,492	△ 838	
	05	非常勤職員給与支出	81,020	64,232	16,788	職員増
	07	退職給付支出	4,671	4,095	576	掛け金増
	08	法定福利費支出	21,273	19,250	2,023	職員増
202	事業費支出		49,029	42,812	6,217	
	01	給食費支出	14,817	13,324	1,493	食材費値上げ
	05	保健衛生費支出	3,926	2,545	1,381	感染対策強化
	08	教養娯楽費支出	1,820	1,851	△ 31	旅行計画による増
	12	水道光熱費支出	13,321	13,801	△ 480	
	13	燃料費支出	5,400	2,905	2,495	燃料使用料の増
	15	消耗器具備品費支出	5,210	3,233	1,977	感染対策他備品整備のため
	16	保険料支出	377	323	54	
	17	賃借料支出	1,618	1,650	△ 32	
	18	教育指導費支出	50	120	△ 70	
	21	車両費支出	2,340	2,940	△ 600	
	23	雑 支 出	150	120	30	
203	事務費支出		41,724	38,414	3,310	
	01	福利厚生費支出	1,200	928	272	
	02	職員被服費支出	260	110	150	
	03	旅費交通費支出	343	200	143	
	04	研修研究費支出	1,330	692	638	
	05	事務消耗品費支出	2,921	2,185	736	備品整備のための増
	06	印刷製本費支出	55	55	0	
	09	修繕費支出	6,400	7,000	△ 600	予定修繕計画減
	10	通信運搬費支出	1,111	1,491	△ 380	
	11	会議費支出	120	102	18	
	13	業務委託費支出	17,920	16,504	1,416	第三者評価・委託費増
	14	手数料支出	316	316	0	
	15	保険料支出	1,390	890	500	
	16	賃借料支出	5,039	4,809	230	
	18	租税公課支出	330	330	0	
	19	保守料支出	1,976	1,816	160	
	21	諸会費支出	575	350	225	
	23	雑 支 出	438	636	△ 198	
204	就労支援事業支出		12,085	8,846	3,239	
	01	就労支援事業販売原価支出	11,478	8,364	3,114	
		01 就労支援事業製造原価支出	11,478	8,364	3,114	
	02	就労支援事業販管費支出	607	482	125	

令和7年度 くすのき園拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
くすのき園拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
214	その他の支出		46	15	31	
	01	利用者等外給食費支出	46	15	31	
		事業活動支出計	248,773	220,206	28,567	
222	固定資産取得支出		79,300	6,500	72,800	
	02	建物取得支出	65,000	4,600	60,400	宿泊棟個室化工事一式
	03	構築物取得支出	2,000	0	2,000	引き込みケーブル取替工事
	04	機械及び装置取得支出	5,500	0	5,500	織機
	06	器具及び備品取得支出	0	1,900	△ 1,900	
	07	建設仮勘定取得支出	3,500	0	3,500	宿泊棟個室化 設計費
	10	ソフトウェア取得支出	3,300	0	3,300	織機用ソフト
		施設整備等支出計	79,300	6,500	72,800	
243	拠点区分間繰入金支出		8,776	8,605	171	
	05	くすのき園拠点区分間繰入金支出	8,776	8,605	171	本部人件費・事務経費施設負担分
		その他の活動支出計	8,776	8,605	171	
248	予備費支出		15,000	8,000	7,000	
		資金当期支出計	351,849	243,311	108,538	
		当期資金収支差額合計	△ 39,991	△ 7,681	△ 32,310	
前期末支払資金残高(見込)			91,096			
当期末支払資金残高			51,105			

令和7年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

りんどう荘拠点区分

(単位:千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
264	障害福祉サービス等事業収入		88,772	88,184	588	
	01 自立支援給付費収入		66,967	67,201	△ 234	
		02 訓練等給付費収入	66,967	67,201	△ 234	処遇改善加算増、令和6年度報酬改定による単価減 光熱水費高騰による実費負担増
	03 利用者負担金収入		18,325	17,165	1,160	
	04 補足給付費収入		3,480	3,720	△ 240	
		01 特定障害者特別給付費収入	3,480	3,720	△ 240	対象者2名減
	06 その他の事業収入		0	98	△ 98	
		01 補助金事業収入(公費)	0	98	△ 98	処遇改善臨時特例交付金終了
271	受取利息配当金収入		4	4	0	
272	その他の収入		304	354	△ 50	
	02 利用者等外給食費収入		300	350	△ 50	食事注文実績減
	03 雑収入		4	4	0	
	事業活動収入計		89,080	88,542	538	
286	積立資産取崩収入		3,000	0	3,000	
	06 経営安定化積立資産取崩収入		3,000	0	3,000	運転資金
	その他の活動収入計		3,000	0	3,000	
	資金当期収入計		92,080	88,542	3,538	

令和7年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
りんどう荘拠点区分
(単位:千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		61,164	63,089	△ 1,925	
	02	職員給料支出	3,762	3,545	217	
	03	職員賞与支出	960	890	70	
	05	非常勤職員給与支出	48,068	49,724	△ 1,656	
	07	退職給付支出	1,494	1,440	54	共済掛金アップ
	08	法定福利費支出	6,880	7,490	△ 610	
202	事業費支出		14,240	14,187	53	
	01	給食費支出	4,506	4,506	0	
	05	保健衛生費支出	416	266	150	実績見直しによる増
	08	教養娯楽費支出	226	226	0	
	12	水道光熱費支出	4,606	4,830	△ 224	実績見直しによる減
	13	燃料費支出	1,680	1,233	447	重油使用料増、値上りによる増
	15	消耗器具備品費支出	1,534	1,980	△ 446	実績見直しによる減
	17	賃借料支出	465	411	54	公用車1台再リースによる減、AEDリースによる増
	21	車両費支出	807	735	72	ガソリン値上り、通院増、看護師見回りによる増、車検代減
203	事務費支出		12,495	11,828	667	
	01	福利厚生費支出	729	681	48	付加検診対象者増
	03	旅費交通費支出	49	126	△ 77	自家用車利用減
	04	研修研究費支出	106	142	△ 36	実績見直しによる減
	05	事務消耗品費支出	840	1,050	△ 210	事務所増築に伴う備品購入完了
	06	印刷製本費支出	120	100	20	求人広告チラシ分増
	09	修繕費支出	878	878	0	
	10	通信運搬費支出	855	671	184	電話利用料、切手代増
	13	業務委託費支出	1,313	889	424	第三者評価実施
	14	手数料支出	591	612	△ 21	振込手数料等増、検便対象人数減
	15	保険料支出	456	376	80	火災保険料、公用車任意保険料増
	16	賃借料支出	339	339	0	
	17	土地・建物賃借料支出	5,064	5,064	0	
	18	租税公課支出	61	61	0	
	19	保守料支出	452	502	△ 50	令和6年度報酬改定対応費分減
	23	雑支出	642	337	305	求人広告代増、地域連携推進会議日当
214	その他の支出		300	350	△ 50	
	01	利用者等外給食費支出	300	350	△ 50	食事注文実績減
事業活動支出計			88,199	89,454	△ 1,255	

令和7年度 りんどう荘拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
りんどう荘拠点区分
(単位:千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
222 固定資産取得支出			0	1,100	△ 1,100	
	02	建物取得支出	0	1,100	△ 1,100	排煙窓開閉装置更新工事完了
	03	構築物取得支出	0	0		
	06	器具及び備品取得支出	0	0		
施設整備等支出計			0	1,100	△ 1,100	
243 拠点区分間繰入金支出			4,752	4,278	474	
	04	りんどう荘拠点区分間繰入金支出	4,752	4,278	474	本部人件費、事務経費負担分増
その他の活動支出計			4,752	4,278	474	
248 予備費支出			2,000	2,000	0	
資金当期支出計			94,951	96,832	△ 1,881	
当期資金収支差額合計			△ 2,871	△ 8,290	5,419	
前期末支払資金残高(見込額)			8,944			
当期末支払資金残高			6,073			

令和7年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者能力開発センター拠点区分
(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
259	介護保険事業収入		872	1,243	△ 371	
	03	地域密着型介護料収入	820	1,235	△ 415	
		01 介護報酬収入	738	1,112	△ 374	共生型
		04 介護負担金収入(一般)	82	123	△ 41	
	05	利用者等利用料収入	52	8	44	
		05 食費収入(一般)	52	8	44	
264	障害福祉サービス等事業収入		152,112	153,578	△ 1,466	
	01	自立支援給付費収入	133,522	135,257	△ 1,735	
		01 介護給付費収入	110,677	103,459	7,218	収入見込み増
		02 訓練等給付費収入	22,845	31,798	△ 8,953	収入見込み減
	03	利用者負担金収入	12,601	14,100	△ 1,499	
	04	補足給付費収入	5,695	3,828	1,867	
		01 特定障害者特別給付費収入	5,695	3,828	1,867	収入見込み増
	06	その他の事業収入	294	393	△ 99	
		01 補助金事業収入(公費)	294	393	△ 99	自治体助成金
268	その他の事業収入		675	0	675	
	02	その他の事業収入	675	0	675	
		01 補助金事業収入	675	0	675	育休復帰支援
271	受取利息配当金収入		10	10	0	
272	その他の収入		295	290	5	
	01	受入研修費収入	5	0	5	介護等体験受入研修費
	02	利用者等外給食費収入	90	90	0	体験時食事代
	03	雑収入	200	200	0	自動販売機手数料
	事業活動収入計		153,964	155,121	△ 1,157	
286	積立資産取崩収入		0	10,000	△ 10,000	
	05	施設・設備等整備改修積立資産取崩収入	0	10,000	△ 10,000	
	その他の活動収入計		0	10,000	△ 10,000	
	資金当期収入計		153,964	165,121	△ 11,157	

令和7年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者能力開発センター拠点区分
(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			104,232	103,236	996	
	02	職員給料支出	20,846	20,682	164	正職員5名
	03	職員賞与支出	5,630	5,427	203	正職員5名
	05	非常勤職員給与支出	60,666	58,848	1,818	嘱託21名、契約5名
	07	退職給付支出	3,310	3,111	199	継続5名、新規22名
	08	法定福利費支出	13,780	15,168	△ 1,388	
202 事業費支出			32,632	30,112	2,520	
	01	給食費支出	15,192	14,592	600	給食食材費他
	05	保健衛生費支出	1,240	940	300	利用者健康診断料他
	08	教養娯楽費支出	260	252	8	新聞購読料他
	12	水道光熱費支出	8,760	8,160	600	水道、電気、ガス代
	13	燃料費支出	1,080	940	140	灯油代他
	15	消耗器具備品費支出	1,900	1,750	150	訓練室等用備品
	16	保険料支出	120	120	0	センター利用者傷害保険料
	17	賃借料支出	2,100	1,578	522	入所者シーツレンタル料他
	18	教育指導費支出	400	400	0	講師謝金
	21	車両費支出	1,500	1,300	200	ガソリン代他
	23	雑 支 出	80	80	0	廃棄物処理費他
203 事務費支出			17,892	17,143	749	
	01	福利厚生費支出	980	805	175	インフルエンザ予防接種代他
	02	職員被服費支出	150	150	0	ユニフォーム代
	03	旅費交通費支出	200	200	0	全国施設総会旅費他
	04	研修研究費支出	510	510	0	研修代
	05	事務消耗品費支出	1,000	1,000	0	事務用品代
	09	修繕費支出	3,500	3,340	160	宿泊棟・訓練室修繕他
	10	通信運搬費支出	436	436	0	通話料、切手他
	11	会議費支出	20	20	0	来客用お茶代
	13	業務委託費支出	6,750	6,117	633	清掃業務委託料他
	14	手数料支出	511	487	24	勤怠管理システム、振込手数料他
	15	保険料支出	1,109	856	253	自動車任意保険料他
	16	賃借料支出	323	899	△ 576	福祉の森リース料他
	18	租税公課支出	220	220	0	法人税・消費税等
	19	保守料支出	1,533	1,533	0	空調機保守料他
	21	諸会費支出	220	145	75	身体障害児者施設協議会会費他
	23	雑 支 出	430	425	5	求人広告掲載料他
214 その他の支出			90	90	0	
	01	利用者等外給食費支出	90	90	0	体験時食材代他
事業活動支出計			154,846	150,581	4,265	

令和7年度 身体障害者能力開発センター拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
身体障害者能力開発センター拠点区分
(単位:千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
222	固定資産取得支出		5,840	13,150	△ 7,310	
	02 建物取得支出		1,000	6,000	△ 5,000	空調機(リハ室)
	06 器具及び備品取得支出		4,840	7,150	△ 2,310	電動ベッド・リハ機器他
224	ファイナンス・リース債務の返済支出		620	0	620	パソコンリース料
	施設整備等支出計		6,460	13,150	△ 6,690	
243	拠点区分間繰入金支出		6,576	6,755	△ 179	
	03 開発センター拠点区分間繰入金支出		6,576	6,755	△ 179	令和7年度本部経費
	その他の活動支出計		6,576	6,755	△ 179	
248	予備費支出		3,500	2,000	1,500	
	資金当期支出計		171,382	172,486	△ 1,104	
	当期資金収支差額合計		△ 17,418	△ 7,365	△ 10,053	
前期末支払資金残高(見込額)			48,713			
当期末支払資金残高			31,295			

令和7年度 相談支援事業所拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

相談支援事業所拠点区分

(単位:千円)

(収入の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A-B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
264	障害福祉サービス等事業収入		16,569	16,039	530	
	01 自立支援給付費収入		6,583	6,253	330	
		04 計画相談支援給付費収入	6,583	6,253	330	収入見込み増
	02 障害児施設給付費収入		9,986	9,786	200	
		03 障害児相談支援給付費収入	9,986	9,786	200	収入見込み増
271	受取利息配当金収入		2	2	0	預金受取利息
	事業活動収入計		16,571	16,041	530	
286	積立資産取崩収入		0	2,000	△ 2,000	
	06 経営安定化積立資産取崩収入		0	2,000	△ 2,000	
294	拠点区分間繰入金収入		2,000	2,000	0	
	07 法人本部拠点区分間繰入金収入		2,000	2,000	0	運営支援金
	その他の活動収入計		2,000	4,000	△ 2,000	
	資金当期収入計		18,571	20,041	△ 1,470	

令和7年度 相談支援事業所拠点区分 予算書

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

相談支援事業所拠点区分

(単位:千円)

(支出の部)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			16,914	15,846	1,068	
	02	職員給料支出	11,062	10,343	719	正職員3名
	03	職員賞与支出	3,085	2,904	181	正職員3名
	07	退職給付支出	420	405	15	正職員3名
	08	法定福利費支出	2,347	2,194	153	正職員3名
202 事業費支出			324	324	0	
	12	水道光熱費支出	180	180	0	電気・水道料金
	21	車両費支出	144	144	0	公用車ガソリン代
203 事務費支出			2,283	1,915	368	
	01	福利厚生費支出	67	67	0	ふれあう共済会費、健康診断料他
	02	職員被服費支出	10	10	0	職員被服費
	03	旅費交通費支出	60	60	0	交通費及び駐車料金
	04	研修研究費支出	240	100	140	強度行動支援者養成研修他
	05	事務消耗品費支出	340	250	90	コピーカウント料、事務消耗品代
	09	修繕費支出	50	50	0	器具等修繕
	10	通信運搬費支出	880	760	120	電話料、切手等
	11	会議費支出	10	10	0	お茶代等
	13	業務委託費支出	95	91	4	請求システム他
	14	手数料支出	48	46	2	振込手数料、勤怠管理システム
	15	保険料支出	105	93	12	公用車任意保険等
	16	賃借料支出	172	172	0	公用車リース、複写機リース
	18	租税公課支出	10	10	0	消費税等
	19	保守料支出	26	26	0	会計システム保守料他
	21	諸会費支出	20	20	0	熊本市相談支援連絡協議会会費他
	23	雑 支 出	150	150	0	求人広告代
事業活動支出計			19,521	18,085	1,436	
243 拠点区分間繰入金支出			708	686	22	
	06	相談支援事業所拠点区分間繰入金支出	708	686	22	令和7年度本部経費
その他の活動支出計			708	686	22	
248 予備費支出			1,000	500	500	
資金当期支出計			21,229	19,271	1,958	
当期資金収支差額合計			△ 2,658	770	△ 3,428	
前期末支払資金残高(見込額)			6,724			
当期末支払資金残高			4,066			

令和7年度 公益事業区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
公益事業区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267	受託事業収入		48,213	40,320	7,893	
	01 受託事業収入		48,213	40,320	7,893	
		02 くまもと障がい者スポーツ大会受託収入	7,234	6,976	258	
		03 全国障害者ｽﾎﾟｰﾂ大会選手団派遣事業受託収入	37,593	30,031	7,562	
		05 熊本県スポーツ文化協会事務局受託収入	3,386	3,313	73	
268	その他の事業収入		650	650	0	
	01 利用料収入		450	450	0	
	02 その他の事業収入		200	200	0	
		03 その他の事業収入	200	200	0	
271	受取利息配当金収入		2	2	0	
	事業活動収入計		48,865	40,972	7,893	
286	積立資産取崩収入		900	600	300	
	09 国際障害者年記念基金積立資産取崩収入		900	600	300	
	その他の活動収入計		900	600	300	
	資金当期収入計		49,765	41,572	8,193	

令和7年度 公益事業区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
公益事業区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201	人件費支出		13,893	13,002	891	
	02	職員給料支出	1,947	3,695	△ 1,748	
	03	職員賞与支出	567	1,050	△ 483	
	05	非常勤職員給与支出	8,991	5,942	3,049	
	07	退職給付支出	551	536	15	
	08	法定福利費支出	1,837	1,779	58	
202	事業費支出		900	600	300	
	22	助成金支出	900	600	300	
203	事務費支出		33,627	26,889	6,738	
	01	福利厚生費支出	76	76	0	
	02	職員被服費支出	24	24	0	
	03	旅費交通費支出	9,094	4,181	4,913	
	05	事務消耗品費支出	268	244	24	
	07	水道光熱費支出	300	200	100	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	300	795	△ 495	
	10	通信運搬費支出	120	97	23	
	11	会議費支出	264	255	9	
	13	業務委託費支出	1,697	1,606	91	
	14	手数料支出	29	31	△ 2	
	15	保険料支出	290	241	49	
	16	賃借料支出	12,308	10,550	1,758	
	18	租税公課支出	2,048	1,845	203	
	19	保守料支出	50	50	0	
	23	雑 支 出	6,739	6,674	65	
		事業活動支出計	48,420	40,491	7,929	
242	事業区分間繰入金支出		1,580	1,595	△ 15	
	01	スポ文関係事業事業区分間繰入金支出	948	957	△ 9	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金支出	632	638	△ 6	
		その他の活動支出計	1,580	1,595	△ 15	
248	予備費支出		1,550	148	1,402	
		資金当期支出計	51,550	42,234	9,316	
		当期資金収支差額合計	△ 1,785	△ 662	△ 1,123	
		前期末支払資金残高(見込額)	11,859			
		当期末支払資金残高	10,074			

令和7年度 国際障害者年記念基金事業拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
国際障害者年記念基金事業拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
271		受取利息配当金収入	2	2	0	
		事業活動収入計	2	2	0	
286		積立資産取崩収入	900	600	300	
	09	国際障害者年記念基金積立資産取崩収入	900	600	300	助成金3団体分
		その他の活動収入計	900	600	300	
		資金当期収入計	902	602	300	

令和7年度 国際障害者年記念基金事業拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
国際障害者年記念基金事業拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
202	事業費支出		900	600	300	
	22	助成金支出	900	600	300	助成金 3 団体分
203	事務費支出		2	4	△ 2	
	14	手数料支出	2	4	△ 2	振込 3 件分他
		事業活動支出計	902	604	298	
		資金当期支出計	902	604	298	
		当期資金収支差額合計	0	△ 2	2	
前期末支払資金残高（見込額）			189			
当期末支払資金残高			189			

令和7年度 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267	受託事業収入		44,827	37,007	7,820	
	01 受託事業収入		44,827	37,007	7,820	
		02 くまもと障がい者スポーツ 大会受託収入	7,234	6,976	258	
		03 全国障害者スポーツ大会選手団 派遣事業受託収入	37,593	30,031	7,562	佐賀県から滋賀県へ
268	その他の事業収入		650	650	0	
	01 利用料収入		450	450	0	
	02 その他の事業収入		200	200	0	
		03 その他の事業収入	200	200	0	
事業活動収入計			45,477	37,657	7,820	
資金当期収入計			45,477	37,657	7,820	

令和7年度 障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
障害者スポーツ・文化関係事業拠点区分
(単位: 千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			11,448	10,631	817	
	02	職員給料支出	1,947	3,695	△ 1,748	正職員1名(25%)くまもと大会分 正職員1名(25%)全国大会分
	03	職員賞与支出	567	1,050	△ 483	正職員1名(25%)くまもと大会分 正職員1名(25%)全国大会分
	05	非常勤職員給与と支出	7,000	3,995	3,005	契約職員増のためくまもと大会分 契約職員増のため全国大会分
	07	退職給付支出	414	402	12	
	08	法定福利費支出	1,520	1,489	31	
203 事務費支出			33,366	26,629	6,737	
	01	福利厚生費支出	57	57	0	
	02	職員被服費支出	18	18	0	
	03	旅費交通費支出	9,094	4,181	4,913	佐賀県から滋賀県へ
	05	事務消耗品費支出	268	244	24	
	07	水道光熱費支出	300	200	100	
	08	燃料費支出	20	20	0	
	09	修繕費支出	300	795	△ 495	
	10	通信運搬費支出	120	97	23	
	11	会議費支出	264	255	9	
	13	業務委託費支出	1,697	1,606	91	
	14	手数料支出	18	18	0	
	15	保険料支出	290	241	49	
	16	賃借料支出	12,300	10,542	1,758	佐賀県から滋賀県へ
	18	租税公課支出	1,856	1,656	200	
	19	保守料支出	25	25	0	
	23	雑 支 出	6,739	6,674	65	
事業活動支出計			44,814	37,260	7,554	
242 事業区分間繰入金支出			948	957	△ 9	
	01	スポーツ関係事業事業区分間繰入金支出	948	957	△ 9	
その他の活動支出計			948	957	△ 9	
248 予備費支出			1,500	100	1,400	
資金当期支出計			47,262	38,317	8,945	
当期資金収支差額合計			△ 1,785	△ 660	△ 1,125	
前期末支払資金残高(見込額)			9,689			
当期末支払資金残高			7,904			

令和7年度 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分 予算書

(収入の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分
 (単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
267	受託事業収入		3,386	3,313	73	
	01 受託事業収入		3,386	3,313	73	
		05 熊本県スポーツ文化協会 事務局受託収入	3,386	3,313	73	スポ文協会より
	事業活動収入計		3,386	3,313	73	
	資金当期収入計		3,386	3,313	73	

令和7年度 熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分 予算書

(支出の部)

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団
熊本県障害者スポーツ・文化協会事務局拠点区分
(単位：千円)

科 目			本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A－B)	説 明
大 区 分	中 区 分	小 区 分				
201 人件費支出			2, 445	2, 371	74	
	05	非常勤職員給与支出	1, 991	1, 947	44	非常勤職員 1 名
	07	退職給付支出	137	134	3	非常勤職員 1 名
	08	法定福利費支出	317	290	27	非常勤職員 1 名
203 事務費支出			259	256	3	
	01	福利厚生費支出	19	19	0	
	02	職員被服費支出	6	6	0	
	14	手数料支出	9	9	0	
	16	賃借料支出	8	8	0	
	18	租税公課支出	192	189	3	
	19	保守料支出	25	25	0	
事業活動支出計			2, 704	2, 627	77	
242 事業区分間繰入金支出			632	638	△ 6	
	02	スポ文協会事務局事業区分間繰入金支出	632	638	△ 6	本部負担経費
その他の活動支出計			632	638	△ 6	
248 予備費支出			50	48	2	
資金当期支出計			3, 386	3, 313	73	
当期資金収支差額合計			0	0	0	
前期末支払資金残高（見込額）			1, 980			
当期末支払資金残高			1, 980			